

「発表の場ふれあい教室」～桜まつりへ

毎年11月に開催している大津中学校教育力推進の会主催「ふれあい教室」は小・中学生と地域の人の体験・交流を目的とした行事で、青少年育成推進員も講師となり、生徒にチョコバナナ作りを体験してもらっています。



毎年4月に行われる北久里浜桜まつりでは、ふれあい教室で体験した生徒の「発表の場」として推進員と共に出店しています。見た目も綺麗でなければ売ることができません。ゆっくり作っていると店の前に長蛇の列、早く作ろうとすると失敗してしまいます。また、売り上げを見て喜ぶ中学生には必要経費等

活動報告『がんばってます、青少年育成活動地域連絡会』

があることを伝えて利益を上げる大変さを実感してもらっています。行事からの延長線に社会参加があるのは、中学生にとっても貴重な体験になっていきたいと思います。参加した生徒の保護者から「良い経験になった」と嬉しい言葉を頂きます。



私たちもいつもと違う一面を感じる貴重な一日になっています。バックアップは意外に大変ですがこれからも続けていきたいなと思います。(鈴木 和子)

武山ツツジまつりにて、ツツジの植樹をしました!

武山山頂では毎年5月3～5日に「ツツジまつり」が開催されています。今年

は、まさに満開の花盛りの中、スケッチ大会や地域の方々の輪踊りなどが行われました。山頂の木は樹齢70年の大きな大きなツツジです。



昨年12月に中学校対抗ウォークラリー大会が武山中学校区で行われ、私たち育成推進員にとつては、地元を見直す良い機会となりました。「武山をもっと豊かに、愛される山にしたい」その想いから、武山観光協会の方々の協力のもと、学区内の小学生と武中地域ポランティアB・M・Sも参加してツツジの植樹をしました。子どもたちは、15センチ程の苗木を一本ずつ丁寧に植えたあと、ネームプレートを添え、植え終えてからも、何度も何度も愛おし

そうに見に来ていました。10年後20年後30年後も大きなツツジになるまで何度でもここを訪れてほしい、自分の住む町を大切に想う人になってほしいと願っています。「武山ツツジプロジェクト」10月には大きなイベントを開催予定です。(村地 紀子)

よこすか大声大会

池上の妙蔵寺で8月19日に、第9回大声大会が、143名の参加で開催されました。この大会では、無農薬野菜とおいしいパンの販売、かき氷の無料提供などがあります。育成推進員の担当した

かき氷は、気温32度の暑さのせいで、1時間半で終了しました。

この大会の目的は『思いっきり大きな声を出すことにより、生きていくことを実感する・暑さや心のモヤモヤなどを吐き出す・犯罪や災害に巻き込まれそうになったとき【いざ】という時に大声を出す訓練・

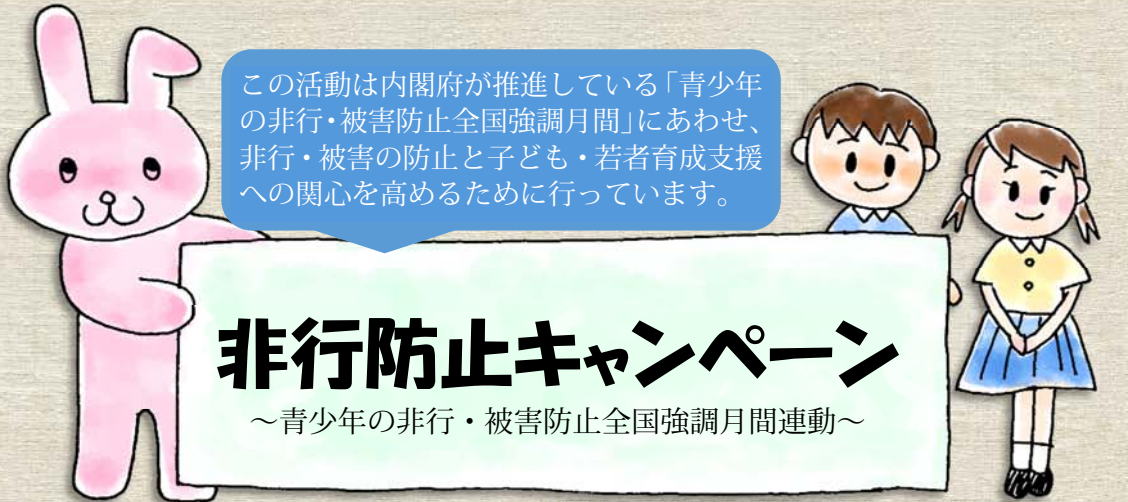
地域交流の活性化の場とする』などです。受賞者には豪華な賞品が用意されています。子ども部(小学生以下)大人の部(中学生以上)の2つに分け、各部3位までとユニモア賞合わせて16の賞があります。



大人の部1位は新記録の124デシベル(音の大きさの単位)。飛行機のエンジン音と同レベルなので、ものすごく大きな声です。子ども部1位は113デシベル。ことばの内容で競うユニモア賞は『結婚して15年のだんな～話し掛けたら返事しろ～』でした。参加者は、大声を出し切り、満足そうなお顔をでした。予想を上回る参加者と猛暑で、関係スタッフ全員ヘトヘトでしたが、達成感に満ち溢れていました。(番場 清隆)



追浜駅周辺
7月22日(土) 16時～
夏休み最初の土曜日、夕方、厳しい暑さの中、鷹取・追浜中学校、横濱創学館・追浜高校の生徒たち、各学校区青少年育成活動地域連絡会メンバーなど総勢62名により、周辺5カ所に分かれて行われまして。
不安と期待を込めて生徒たちはピンクのウサギちゃんやオタクリンと一緒に笑顔でチャリやティッシュを手渡しました。
着ぐるみを見つけた子どもたちが近寄りすぎてはしゃぎで握手したり、ハグしたりして楽しそうでした。生徒たちの感想を聞いてみると「チャリやティッシュをもらってうれしい人がいて大変だったが、もらってくれる人は優しくて一声お疲れさま・有難うと言ってくれよかった」ということでした。このような経験が、非行防止の輪になって広がって、いよいよな気がしました。(吉崎勉)



この活動は内閣府が推進している「青少年の非行・被害防止全国強調月間」にあわせ、非行・被害の防止と子ども・若者育成支援への関心を高めるために行っています。

非行防止キャンペーン

～青少年の非行・被害防止全国強調月間連動～

汐入駅周辺
7月22日(土) 16時～
坂本中学校の生徒181名を他、地域連絡会のメンバーを含め、総勢49名。
京急線の高架下の改札を右手に出て、芸術劇場の脇を抜けた先の大きな歩道橋の上、この下を横須賀中央寄りの16号線を横断する信号の3カ所でキャンペーンが行われました。
汐入のこの辺りは歩道が広く、おまけに歩道橋の先のヴェルニ公園を通過して爽やかな風が吹き抜け、道行く人もそぞろ歩きといった風情です。
1時間ほどのキャンペーン中、スカリンと2ショットしたり、配布物を受け取ったり、外国人の方もちらほら、国際色豊かな横須賀、多言語対応が(今後は必要かも知れません。広報取材)



馬堀海岸駅周辺
夏休みを一週間後に控えた、とても暑かったこの日、馬堀中学校の生徒を含む28名が集まりました。そこで非行防止キャンペーンに参加する前の気持ちや終えてからの感想を、中学生や引率の先生、校長先生にインタビュー(吉崎)



横須賀中央駅周辺
7月8日(土) 16時～
梅雨時とは思えぬ最高気温33度の中、常葉・大津・不入斗中学校の先生・生徒、地域連絡会・育成関係者総勢49名でキャンペーン活動を行いました。
夏本番を思わせる暑さで、急ぎ足で通り過ぎて行く人が多いなか、中学生が何を配っているのかとチャリを受け取ったり、話しかけたりしてくれる人もいました。
このように、子どもたちが「何をしているのか?何を考えているのか?」と思う気持ち、青少年の非行を防ぐのにはないかと思いましたが、今回は着ぐるみのウサギさんは居ませんでした。中学生の大きな声と頑張りによって1時間程で終了しました。短時間ででしたが、多くの人に青少年育成活動を知ってもらおう意義のある活動でした。(浦井直実)

《校長先生》
生徒たちも、なかなか部活動などで行事に参加できなかったが、少しでも一緒に参加させていただけると良かったと思います。運動の試合に行く途中の子も、みんな元気にしていました。夏休みをちゃんと過ごすよう頑張ります。(吉崎)

《引率の先生》
非行防止キャンペーンというところで、ティッシュ配り、チャリ配りのお手伝いをさせていたりましたが、自分の中で最初は子どもが、自分と違って何をしたいのか、地域全体で非行防止について考えていかないと、皆さんにお配りするといふ形でも、今回加勢から中学校まで、この地域の方々と連携しながら一緒に頑張っていました。(吉崎)

子どもたちの元気を引き出すための3つの要素「モチベーションを上げる」「メッセージを伝える」をテーマとし、誰でもできる10種類のゲームや体験談を交えた研修が行われました。自然に、真剣に、楽しく、手にあせ握

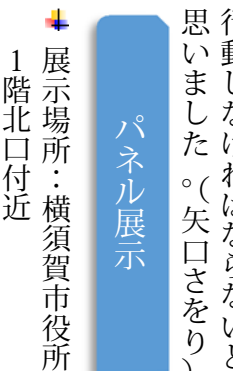


子どもたちの元気を引き出すための3つの要素「モチベーションを上げる」「メッセージを伝える」をテーマとし、誰でもできる10種類のゲームや体験談を交えた研修が行われました。自然に、真剣に、楽しく、手にあせ握

横三地域青少年指導員活動研究会
日時：6月3日(土) 13時30分～16時30分
会場：横須賀三浦地域県政総合センター5階大会議室
参加人数：横須賀市16名、鎌倉市3名、三浦市各7名、逗子市・葉山町各4名
「皆さんこんにちは!! 『キ・タ・ミ』です!!」
めいっばい目を開き、大きな声であいさつされた、講師の独立行政法人青少年教育振興機構 北見靖直さんのペースに、一気に引き込まれてしまいました。

全体研修会
4月16日 青年会館
県職員の方から、スロージャンである「みんなを守り、支え、育てよう」に関連した、青少年保護育成条例や最新の事件事故についてお話をいただきました。

展示場所：横須賀市役所1階北口付近
展示期間：7月10日～7月14日



今回の県民大会に参加した子どもたちは大人をよく見ていると感じました。私たち大人は青少年の見本となるよう、信頼される大人になれるよう気を引き締め行動しなければならぬと思いました。(矢口さより)

基調講演は、NPO法人子どもと生活文化起用会顧問・小田原市教育委員会委員長和重宏氏の「今、大人ができること」でした。
「大人と青少年ともに育ち合う」テーマでパネルディスカッションが行われました。

平成29年度 青少年の健全育成を進める県民大会
ひきこもり、いじめ、非行、暴力行為等、青少年をめぐる問題が深刻化している要因の一つとして、青少年の行動に対する大人の無関心さや規範意識の低下など、大人の責任が、今、問われています。
本大会は、大人自身がその責任を自覚し、自らの課題として「それぞれの立場や役割に応じた青少年健全育成の推進とは?」を考える場として、毎年実施されています。

地域の子どもたちに働きかける活動が、今まさに私たちにとって重要であることを、つくづく感じました。まずそのための第一歩... (吉崎勉)

・・・後期活動 i n f o r m a t i o n ・・・

わんぱく
フェスティバル
2017
10月22日10時～開催

場所： 県立保健福祉大学（平成町1-10-1、京急県立大学駅から徒歩約5分・安浦二丁目行きバス終点下車）
内容： 幼児から中高生による活動発表や体験コーナー、各団体の出店・展示などお互いの理解や交流を図ります。多くの参加をお待ちしております。入場無料です。（Y・A）

第12回中学校対抗ウォークラリー大会の開催

～大楠山の自然を感じる街、池上を歩こう～



日程： 12月9日（土）
場所： 池上中学校区周辺
概要： 池上中学校からスタートし、大楠山登山口、しょうぶ園、平作神社をめぐるコース。自然豊かな大楠山の麓、意外と知られていない横須賀にゆかりのある人物に関係した施設をまわったり、阿部倉の七不思議に出会ったりと、自然と歴史を楽しめます。ゴールしたら、いつもと違う何かがある！乞うご期待！（Y・N）

ゆうやけこやけ

子どもも大人も、予防注射ほど苦手なものはない。我が子が11歳になったある日、突然「予防接種のご案内」なるハガキが届き、平和だった我が家に、重い空気が漂った。
緊張した面持ちの親子が小児科のドアをたたくと、待合室の奥から優しい笑顔の初老の先生がこちらを見ている。「何かスポーツとかやっているの？ 今日、注射のことで頭がいっぱいの我が子は、小さな声で「はい」というのが精一杯。私は、つい横から口を挟み、頼まれなくてもいいのに代弁者となる。「下手でもいいから、自分の言葉で話せる子に

育ててもらいたい」なんて思いながら、おせっかいを発揮している私は、その後、一人反省タイム。
そう言えば、こんな事もあった。庭で豊作だったベリーを果実瓶に氷砂糖とたっぷり詰め込んで、ジュースを作ってみた。カビが生えないように、せっせと毎日ビンごと振って、美味しい自家製ジュースができるのを1か月以上待った。透明なワインレッドの液体が「もういいよ」と言っているように見えたのに、ガラス瓶の蓋を開けた途端、強烈なアルコール臭。結局、手をかけすぎたせいなのか、ジュースになるはずが発酵していたのだ。
嗚呼、悲しき親心。愛するがゆえにいついっしょに出し、口を出し、こんなはずではと嘆く。子どもも果実ジュースもどちらでも可愛い。手のかけ過ぎは禁物である。（Y・J）

編集後記

会議室の壁に映し出された文字を追う広報部会のメンバーたち。横須賀市の各地域から参加してきた面々で、つい最近まではお互いのことを知らなかった仲間たちだ。しかし、驚くほどに意見が飛び交い、ひとりで書き上げた文章が、みんなの言葉でより輝きを増していく。編集作業と呼ばれるものは辛く、困難な印象を持っていて、多いかもしれないが、この会議室の編集風景は違って見える。より多くの読み手に分かりやすく、そして、楽しさを伝えたい、そんな思いにあふれているからだろう。（K・W）